

PAT-NO: JP403192386A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03192386 A

TITLE: KITCHEN DISPLAY SYSTEM

PUBN-DATE: August 22, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUWABE, MITSUHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NITSUKO CORP

N/A

APPL-NO: JP01333072

APPL-DATE: December 22, 1989

INT-CL (IPC): G09F009/00, G08B005/36 , G09F009/00

US-CL-CURRENT: 345/169

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily display that the dishes are ready through one operation by providing plural touch key panels in which the display state of a part corresponding to the position of a finger is changed based on a single operation with the finger.

CONSTITUTION: When a waitress inputs order data by a key from a wireless order input device 2 in accordance with an order from a diner in a restaurant, etc., the order data is displayed on plural display devices 3-1, 3-2 and 3-3 ar

ranged in a kitchen through a management controller (POS terminal) 1 and a cook can rapidly grasp the kind and the number of the dishes which should be prepared based on the display content. When the ordered dishes are ready, the cook, etc., operates the corresponding display device 3 so that lamp indication may be performed on a waitress call 4 arranged in the proper part in the restaurant through the controller 1. Thus, the waitress is informed that the dishes are ready and she has only to carry the dishes.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

出することによりそのパネル位置を検出することも可能であり、また、タッチキーパネルが押下されたとき、それまで地色が透明で文字等が黒で表示されていたものを、地色を黒とし文字等を透明とする反転表示による識別手段とすることもできる。

(発明の効果)

以上説明した通り、この発明は、顧客からの注文に応じてオーダー入力装置から入力されたオーダーデータを制御コントローラを介して厨房内に配置したディスプレイ装置に表示し、そのオーダー内容を知らせるキッチンディスプレイシステムにおいて、

前記ディスプレイ装置は、指によるワンタッチ操作に基づき指位置に対応する部分の表示態様が変化する複数のタッチキーパネルを備えていることにより、ワンタッチ操作で料理のでき上がり表示を簡単に行うことができると共に、他の調理人の所にあるキッチンディスプレイにも、でき上がりを簡単に伝えられる。更に、調理人等は忙しい

厨房の中で料理をするという本来の業務に専念することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は飲食店管理システムの概要を示す図、第2図はディスプレイ装置によるオーダーデータのでき上がり表示例を示す図である。

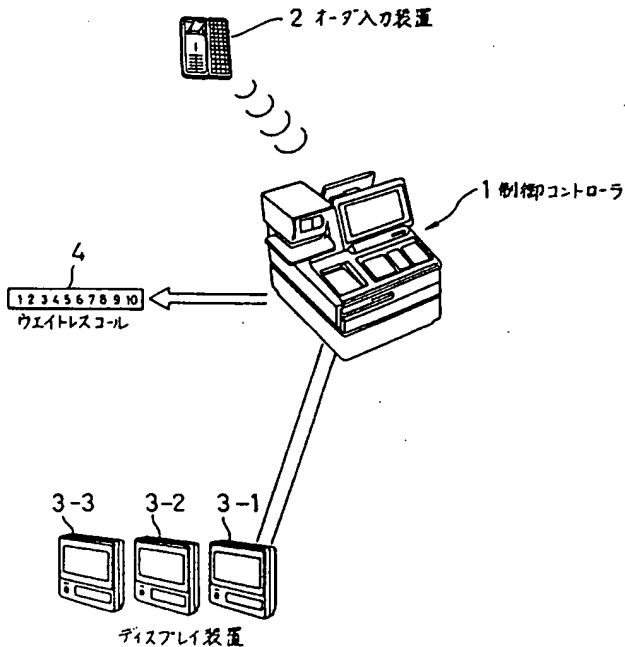
- 1 制御コントローラ
- 2 オーダー入力装置
- 3 ディスプレイ装置
- 5 a, 5 b, タッチキーパネル
- 7 枠

特許出願人 日通工株式会社
代理人 弁理士 高山道夫

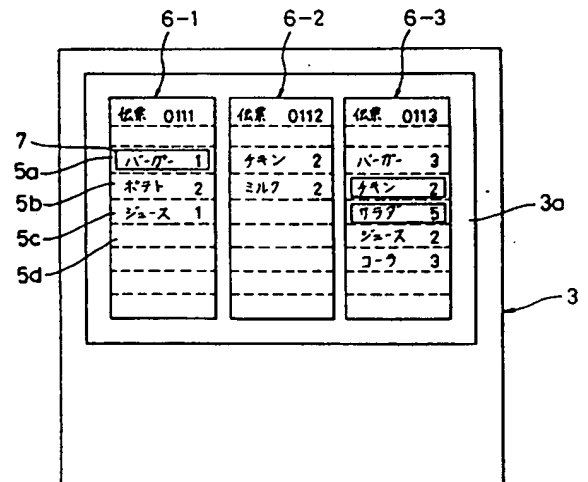
(ほか1名)



第1図



第2図



⑫ 公開特許公報(A) 平3-192386

⑤ Int. Cl.⁵

G 09 F 9/00
G 08 B 5/36
G 09 F 9/00

識別記号

3 6 6
F
3 6 2

庁内整理番号

6957-5C
6376-5C
6957-5C

⑬ 公開 平成3年(1991)8月22日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 キッチンディスプレイシステム

⑯ 特 願 平1-333072

⑰ 出 願 平1(1989)12月22日

⑱ 発 明 者 諏 訪 部 充 弘 神奈川県川崎市高津区北見方260番地 日通工株式会社内

⑲ 出 願 人 日 通 工 株 式 会 社 神奈川県川崎市高津区北見方260番地

⑳ 代 理 人 弁 理 士 高 山 道 夫 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

キッチンディスプレイシステム

2. 特許請求の範囲

顧客からの注文に応じてオーダー入力装置から入力されたオーダーデータを制御コントローラを介して厨房内に配置したディスプレイ装置に表示し、そのオーダー内容を知らせるキッチンディスプレイシステムにおいて、

前記ディスプレイ装置は、指によるワンタッチ操作に基づき指位置に対応する部分の表示態様が変化する複数のタッチキーパネルを備えていることを特徴とするキッチンディスプレイシステム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、顧客からの注文に応じて入力されたオーダーデータを厨房内ディスプレイ装置に表示し、調理人等知らせるキッチンディスプレイシステムに関する。

(従来の技術)

従来のこの種キッチンディスプレイシステムは、例えばレストラン等において、ウェイトレスが顧客からの注文に応じオーダー入力装置によりオーダーデータをキー入力すると、このオーダーデータは無線等により厨房内に配置されたディスプレイ装置にその調理品種や数量が表示されたり、キッチンプリンタで印字され、これによって調理人は調理すべき内容を知ることができた。

また、料理ができ上がった時にはこれを未調理のものと区別するため、調理人はディスプレイ装置に表示された料理名をキー操作により白黒反転表示をしたり、あるいは料理名を枠で囲う等により判別可能とすると共に、更に表示ランプ等でウェイトレスに料理のでき上がりを知らせたりしていた。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、従来のキッチンディスプレイシステムでは、料理のでき上がりを画面に表示するためのキー入力操作は煩雑であり、また、このキー入力操作をワンタッチで行なえるようにするに

は画面に対応した多くのキーを必要とし、更に、キーの数が少ない場合はそれだけキー操作が煩雑になるという課題があった。

この発明は斯かる課題を解決するためになされたもので、その目的とするところは、画面表示された料理のでき上がりをワンタッチ操作で識別表示可能としたキッチンディスプレイシステムを提供することにある。

(課題を解決するための手段)

前記目的を達成するために、本発明は、顧客からの注文に応じてオーダー入力装置から入力されたオーダーデータを制御コントローラを介して厨房内に配置したディスプレイ装置に表示し、そのオーダー内容を知らせるキッチンディスプレイシステムにおいて、

前記ディスプレイ装置は、指によるワンタッチ操作に基づき指位置に対応する部分の表示態様が変化する複数のタッチキーパネルを備えていることを特徴とする。

(作用)

オーダーデータをキー入力すると、このオーダーデータは制御コントローラ(POSターミナル)1を介して厨房内に配置された複数のディスプレイ装置3-1、3-2、3-3に表示され、この表示内容に基づき調理人は調理すべき料理の種類や数量等を迅速に把握することができる。

そして、注文された料理が完成すると、調理人等は対応するディスプレイ装置3を操作することにより、制御コントローラ1を介して店内の遠所に配置されたウェイトレスコール4にランプ表示され、これによってウェイトレスは料理のでき上がりを知り、これを運びにくることになる。

なお、前記制御コントローラ1は図示しないストアコントローラに接続され、各店舗ごとの売上状況等が確認できるようになっている。

ここで本発明においては、前記ディスプレイ装置3は、指によるワンタッチ操作に基づき指位置に対応する部分の表示態様に変化する複数のタッチキーパネルを備えていることを特徴としている。

すなわち、本実施例において、第2図に示され

前記構成により、本発明によれば、ディスプレイ装置が例えば感圧式のシートキーや光学的マトリクス素子等から成る複数のタッチキーパネルを備えていることで、厨房内において、調理人等ができて上がった料理メニューに対応する表示画面部分を指で押したり、指示したりすることにより、その部分のメニュー表示が黒から白に反転したり、あるいはメニュー表示部分が枠で囲われたりすることで、一見して他のメニュー表示と識別することが可能となる。

このため、調理人等は料理のでき上がりをワンタッチ操作で関係者に知らせることができ、作業性が著しく向上するという利点を有する。

(実施例)

以下、図面に基づき本発明の好ましい実施例を説明する。

第1図には飲食店管理システムの概要が示されている。

レストラン等において、ウェイトレスが顧客からの注文に応じて無線式のオーダー入力装置2から

るように、ディスプレイ装置3の表示画面3aは、細長い長方形をなす複数のタッチキーパネル5a、5b、・・・から成る3つの伝票表示部分6-1、6-2、6-3を有している。そして、各伝票6-1、6-2、6-3には、注文された料理名とその数量等の顧客毎のオーダーデータが表示されている。前記タッチキーパネル5a、5b、・・・は、例えば圧電素子のシートキーから成り、そのパネル部分が指で押下されると内蔵されているCPUによって押された部分に対応するパネル位置が演算され、そのパネル部分に表示された文字等の周囲に新たな枠7が形成される。

このため、例えば調理人がオーダー順序に従いバーガを1ヶ作ったとすると、調理人は手元のディスプレイ3に表示されている伝票NO.0111の「バーガ」の欄の部分を指で押下することで、該当する「バーガ1」の表示が枠(7)付きにされ、これによって次に調理すべき料理名と個数を容易に確認することができる。

なお、この場合、光学的な手段で指の位置を検